

守り続けた技術、410年ぶりに駿府へ！



ニーガシショウフ
黄色地花織煮綴芭蕉布瑠璃仕立

王族だけが着ることを許された芭蕉布を展示

時は江戸時代。琉球王国が薩摩藩に侵攻された翌年の1610年、琉球国王 尚寧は、薩摩藩主 島津家久に伴われて駿府・江戸へと向かい、駿府城で徳川家康に謁見します。その時、琉球漆器や酒壺などと共に、芭蕉布 50 反が家康に献上されました。

そして現代、戦後途絶えつつあった芭蕉布づくりを工芸に高めた、人間国宝 平良敏子さん、喜如嘉の人々の手により、今なお織り続けられている芭蕉布。

コロナ禍のため延期となった一年後の本展示に先駆け、風趣たたる数寄屋造りの茶室で尚寧王と家康公の出会い、それに纏わる歴史を紐解きながら、琉球王朝時代平民が着ることを許されなかった禁色、赤や黄色に染められた王族が着ていた芭蕉布を、国指定の重要無形文化財保持団体、喜如嘉の芭蕉布保存会が復元。

江戸時代の芭蕉布とともに、今回はその貴重な逸品を厳選して展示いたします。

410年前のまさにその日、歴史的舞台であった駿府の地で今、伝統の技のすばらしさと、時を越えて繋がる人々の息遣いを体感して頂ければ幸いです。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。



琉球人行列彩色 沖縄県公文書館所蔵



和漢三才図会 個人所蔵

芭蕉布とは？

琉球王朝時代から沖縄の織物を代表する芭蕉布は、風通しが良く肌
に涼しく、王族から農民にいたるまで、夏の衣類として重宝されていま
した。糸芭蕉の繊維から作られ、着物を1反織り上げるには3年かけて
育てた糸芭蕉の木 200本の皮を剥ぎ、煮て繊維を取り出し、裂いて、
糸にするために約2万2千回も結ぶなど、30近くの間を要する。

あまりに繊細で切れやすく、極めて扱いが難しいため、熟練になるま
では気の遠くなるような時間と根気が必要な芭蕉布。織り上げられた
布は、強く美しく、蟬の羽のように透け、光沢を持ち張りがあり、江戸
時代には袴や火事羽織などにも使われた、大変人気の布でした。



ウドゥンブラ
御殿柄芭蕉布

関連イベント

作品解説会

410年前、尚寧王が家康公に謁見し
駿府に滞在した期間のうち旧暦8月16・17・18日にあたる、
本年の10月2・3・4日限定で作品解説会を開催。
平良美恵子氏（喜如嘉芭蕉布事業協同組合理事長）
真栄城興茂氏（沖縄県立芸術大学デザイン工芸科教授）による作品解説や、
家康の前で舞ったとされる琉球古典舞踊・衣装解説を行います。
日時：10月2日（金）3日（土）4日（日）
午前の部 10時～ / 午後の部 14時～
場所：紅葉山庭園 茶室
お申込み：9月15日より受付開始
TEL.054-251-0016 駿府城公園二ノ丸施設管理事務所
各部定員 10名〈事前申込み制〉定員になり次第受付終了
参加費：無料
※諸事情により中止の可能性があります。詳しくはホームページをご覧ください。

特産品試飲コーナー 芭蕉布の里

大宜味村特産シークワサー 飲むシークワサー酔 SKS+S



大宜味中学校の生徒さん
たちが試行錯誤し作り上げた、
心も体も元気になるドリンク
です。さわやかで優しい
味を、ぜひご賞味ください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、以下の対策にご協力をお願いいたします。

【ご来館の皆さまへのお願い】

- マスクの着用と咳エチケットをお願いします。
 - 混雑時には、入場制限を行う場合があります。
 - 発熱・風邪・全身倦怠感・味覚・嗅覚障害の症状がある方、体調がすぐれない方、ご家庭や職場、学校など身近に新型コロナウイルス感染者もしくは感染の可能性のある方がいらっしゃる方は、来館を控えていただきますようお願いいたします。
 - 館内では他の来館者様と十分な間隔（できるだけ2メートルを目安）を空けてご鑑賞ください。また、大きな声での会話はご遠慮ください。
 - 入館時に非接触型体温計での検温をさせていただきます。
- 当館の対策につきましては、ホームページをご覧ください。

【会場へのアクセス】

電車でお越しの方

- JR 静岡駅から徒歩約15分 ●静岡鉄道新静岡駅から徒歩約12分

車でお越しの方

- 東名高速 静岡ICより車で約17分 ●新東名高速 新静岡ICより車で約18分

[駐車場のご用意はございません] 市民文化会館前駐車場（地下駐車場・有料）をご利用ください。

※その他有料駐車場をご利用の際は静岡市中心市街地駐車場の空情報を検索できる「おまちく〜る」をご確認ください。

バスでお越しの方

- JR 静岡駅より駿府浪漫バス約15分（東御門降車）

●団体バスの駐車スペースにつきましては駿府城跡観光バス駐車場（有料）をご利用ください。

※詳しくは静岡市HPをご覧ください。

